

IBDフェローのための First Aidマニュアル

筑波大学医学医療系消化器内科 講師 秋山 慎太郎 著
東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科 教授 松岡 克善 監修

IBD フェローとして米国で最新医療の研鑽を積んだ著者による、日本の診療シーンで活用できる IBD 初学者へ向けた指南書



炎症性腸疾患 (IBD) は、潰瘍性大腸炎とクローン病に代表される原因不明の腸炎であり、本邦でも、コモン難病と称されるほど患者数が急激に増加し、IBD 先進国である米国の軌跡を辿っている。本書は、米国シカゴ大学で IBD フェローを経験した著者による若手医師向けの IBD 指南書である。シカゴ大学の実症例をもとに、Management point として最新のエビデンスを端的に紹介し、図表やフローチャートを豊富に盛り込むことで、より実用性の高い構成となっている。

目次 (抜粋)

総論

1. Inflammatory Bowel Disease (IBD) の免疫機序
2. IBD 診療における必須事項
3. IBD 内科治療戦略概要
4. IBD の外科治療

外来症例編

1. ベドリズマブを導入した左側大腸炎型の潰瘍性大腸炎症例
2. トファシチニブを導入した全大腸炎型潰瘍性大腸炎症例
3. ウステキヌマブを導入した小腸大腸型クローン病症例
4. ウステキヌマブを導入した全大腸炎型潰瘍性大腸炎症例
5. 潰瘍性大腸炎に合併した dysplasia 症例
6. インフリキシマブを導入した初発クローン病症例
7. 痔瘻を形成した小腸大腸型クローン病症例
8. クローン病様の表現型を呈した回腸囊炎 (Pouch with Crohn's disease-like features) 症例

入院症例編

1. 生物学的製剤使用歴のない潰瘍性大腸炎増悪症例
2. Clostridioides difficile infection (CDI) により増悪した潰瘍性大腸炎症例
3. カルシニューリン阻害薬 (CNI) を導入した潰瘍性大腸炎急性増悪症例
4. TNF 阻害薬を再導入した潰瘍性大腸炎症例
5. 瘻孔形成により腹腔内膿瘍を形成した穿通型クローン病症例
6. 狭窄形成により腸閉塞を呈したクローン病症例



2022年9月28日(水) 刊行

定価 3,850 円 (本体 3,500 円 + 税)
フルカラー A5 判並製 144 頁

ISBN978-4-904074-71-8 C3047
ISBN978-4-904074-72-5 【電子版】